

「四国遍路」を基軸とする観光振興に向けた調査事業

世界に誇るべき文化遺産である「四国八十八ヶ所霊場と遍路道」を世界遺産に登録するための取り組みが各方面から進められているものの、受入環境整備（特に多言語表記）に関する課題が依然として掲げられている。

一方で、世界的に高い人気を誇る旅行ガイド「Lonely Planet's Best in Travel 2022 地域編」選出に貢献した四国遍路には、今後多くの外国人旅行者の来訪が見込まれることから、四国八十八ヶ所における独自のストーリー性や豊富な資源・魅力を伝えるため、デジタル技術を活用した受入環境を整備するとともに、将来的な四国遍路を基軸とする観光振興に向けた課題を調査する。

1. 事業実施地域の現状・課題

<現状>

- 四国遍路は、四国一円に点在する空海ゆかりの「88ヶ所札所」を巡礼するものであり、壮大な回遊型巡礼路となっている。
- お遍路さんの人数は十数年前と比較し大幅に減少（約4割減）している一方で、世界的な歩き巡礼ブームを背景に、近年は外国人の「歩き遍路」が年々増加傾向にある。（コロナ禍前）

<課題>

- 受入環境体制が不十分であり、「言葉がわからない」「作法を知らない」「土地勘がない」「習慣がわからない」といった問題がある。
- 札所独自のストーリーや豊富な資源を解説付きで案内できる環境を整える必要がある。
- デジタル技術の活用等により観光面からのアプローチが必要である。

3. 目標値、効果検証・事業評価の手法

- QRコードを読み取り、Webサイトを閲覧した外国人旅行者に対し、有効性や利便性に関するアンケート調査を実施し、効果・課題を検証する。
- 「QR Translator」のダッシュボード機能を活用し、来訪者数をグラフ等で可視化する。地域別、言語別、コード別、時間帯別などそれぞれの分析軸で表示が可能であり、四国遍路へ訪れた外国人旅行者の傾向分析を実施する。

4. 次年度以降の取組

- 情報提供に加え、位置情報・属性情報の取得等を可能とする独自のQR情報システムの構築する。
- DMPへの活用・応用など、ビックデータの基盤構築に向けた関係機関との調整を進める。

2. 事業概要

<事業主体>

四国運輸局、
一般財団法人 百十四経済研究所

<事業実施期間>

令和4年9月～令和5年3月

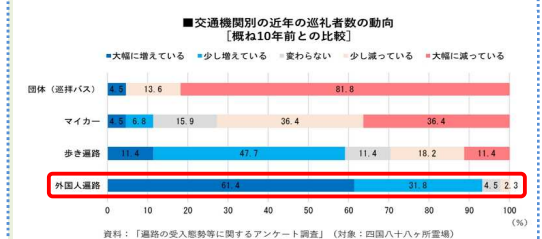
<取組概要>

- 「QR Translator」を活用し、歴史や魅力を紹介する88ヶ所札所分のコード制作（6カ国語対応）を行い、QRコード（各札所に設置*）を用いて携帯端末からアクセスできる環境を整備する。
- アンケート調査により効果・課題を調査・検証する。
- 来訪者数の可視化により、傾向分析を行う。

*（一社）四国八十八ヶ所霊場会と協議

<スケジュール>

- 88ヶ所札所分のコード制作
[実施期間] 9～11月
- QRコード作成及び設置
[実施期間] 11月～12月
- アンケート調査及びデータ集積
[実施期間] 12月～2月
- 効果・課題検証及び事業報告書作成
[実施期間] 2月～3月



QRコードで簡単に多言語翻訳



データで来訪者を可視化

